

令和5年度学校評価自己評価表

東広島市立小谷小学校

学校教育目標

学び続ける力の育成

経営理念

「児童が学びたくなる」「教職員が誇りとやりがいをもてる」「保護者や地域が通わせたい学校」

めざす児童像

自分を見つめて学ぶ子・仲間とともに深く学ぶ子

	中期 経営目標	短期 経営目標	子ども・ 学校の姿	目標達成のた めの方策	達成目標	評価 担当	評価 時期
を 見 つ め て 学 ぶ 仲 間 と と も に 深 く	・自己の課題や能力に応じて学びを深める児童を育成する。	・分かるための努力を惜しまず、「学ぶことが楽しい」と実感できる児童を育成する。	・解決に向かって主体的に学んでいる。	個の課題とつながる家庭学習を推進する。	ジョイ☆スタの学習スタイルによって「学校と家庭での学びがつながっている」と実感している児童満足度肯定的回答80%以上。	研修	7・ 12月
	・互いに認め合い、高まり合う集団を醸成する。	・友だちの考えや思いを受け止め、認める集団を育成する。	・友だちからの学びを大切にしている。	異学年交流(縦割り掃除・縦割り遊び・登校班)を充実させる。 早ね・早起き・朝ごはんカレンダーの取組を充実させる。	「縦割り班でいろいろな学年の人と活動することは楽しい。」と思う児童の割合が、80%以上。	生徒指導	
	(かかわる) 誰にでも、自分からコミュニケーションをとろうとする児童を育成する。	地域や保護者の方々に、進んであいさつなどをしようとする児童を育成する。	出会った人(地域の方・来訪者・先生・友だち)に気持ちのよいあいさつをしている。	・児童会を中心に、あいさつ名人の取組を行い、頑張りを称賛する。 ・あいさつ振り返りカードを活用して指導する。	「すすんであいさつができるようになった。」と思う児童の割合80%以上。	生徒指導	
コ ミュ ニ テ ィ ・ ス ク ー ル の 推 進	(ふれあう) 様々な人と主体的に関わり、学校や学校以外の活動に積極的に取り組む児童を育成する。	自分のお世話になっている様々な人と関わり、相手のことを理解する児童を育成する。	地域の人やお世話になっている人とふれあう機会が増えている。	各教科等の授業、YDK教室、特別活動(委員会、クラブ、行事など)で地域の方々にご協力いただく機会を積極的に増やす。	地域の方と触れ合い、地域の方からいろいろな面で教えていただいていると感じている児童の割合80%以上。	教務	
	(ひろげる) 積極的に地域に貢献する児童を育成する。	様々な人の思いを理解し、自分のできることを考えることが出来る児童を育成する。	《低学年》 お世話になっている地域の人に、感謝の気持ちを伝えている。 《中学年》 地域の様子を聞いたり調べたりして、自分のできることを考えようとしている。 《高学年》 調べたことをもとに、地域のためにできることを考えている。	総合的な学習の時間(生活科)等をとおして、自分たちのできることを考えさせる。	次の項目で肯定的に答える児童の割合80%以上。 ・低：感謝の気持ちを手紙等で伝える。 ・中：地域のためにできることを自分なりに考えてようとしている。 ・高：学校や地域をより良くしていくことを具体的に考えている。	担任	